TOTO 照明ユニット施工説明書

製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

☆安全上の注意

●取付前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。
●この説明書では、商品を安全に正しく取付けていただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。
使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

表　示	意　　味
⚠ 警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、傷害または物的損害が発生する可能性が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

⃠	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

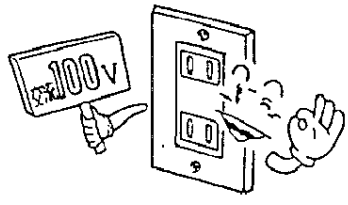
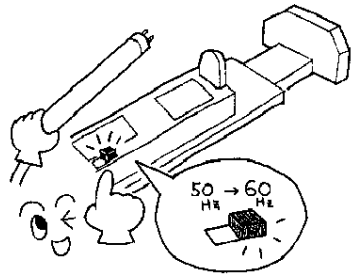
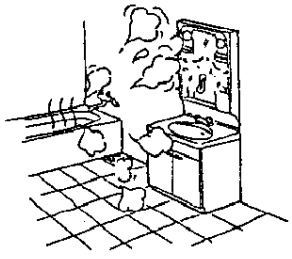
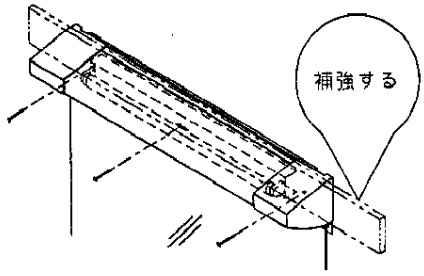
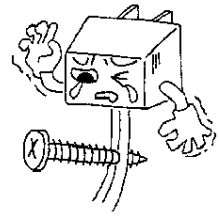
●本体に同梱されている取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取付工事完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。

⚠ 注意

工事完了後、キャビネットの固定を必ず確認する

キャビネットが落下しケガをするおそれがあります。

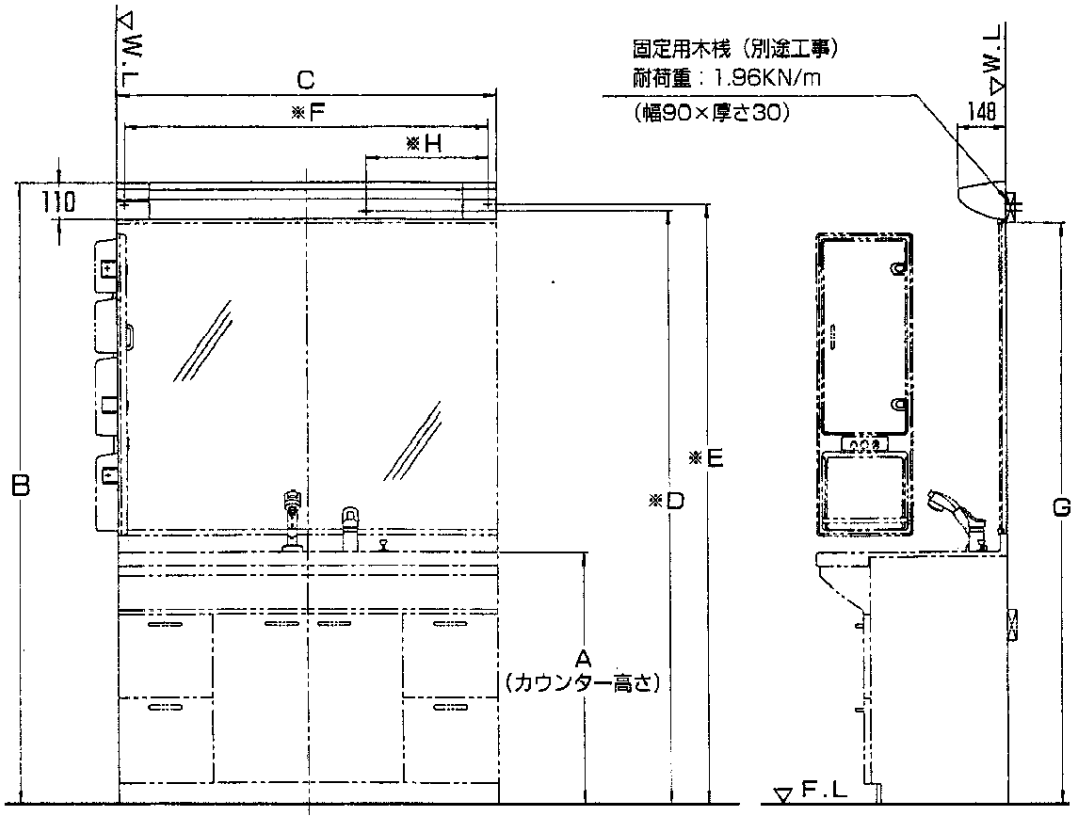
⚠ 警告

電気配線工事は、関連する法令に従って、必ず「有資格者」が行ってください	電源は交流100Vを使用してください	使用地域の周波数にあわせてください
火災や感電の原因になります。 	交流100V以外を使用すると過電流による火災の原因になります。 	60Hz用器具を50Hz地区で使用すると火災の原因になります。 
浴室など湿気の多い場所へ設置しないでください	壁固定ねじ取付位置に桟を入れて補強してください	電気コードを傷つけないでください
⃠ 漏電により感電するおそれがあります。 	キャビネットが落下してケガをするおそれがあります。 	電気コードを傷つけると火災のおそれがあります。 特に壁固定の際は気をつけてください。 ⃠ 

LHJ600・LHJ750・LHJ900・LHJ1050・LHG750・LHG900・LHG1050

☆工事寸法

●特殊品の場合の工事寸法は、承認図を確認してください。



製品品番	A(カウンター高さ)	B	C	D	E	F	G	H
LHJ600	750	1850	600~749	1757	1785	658	1710	250
	800	1900	600~749	1807	1835	658	1760	
LHJ750・LHG750	750	1850	750~899	1763	1785	658	1710	
	800	1900	750~899	1813	1835	658	1760	
LHJ900・LHG900	750	1850	900~1049	1763	1785	808	1710	385
	800	1900	900~1049	1813	1835	808	1760	
LHJ1050・LHG1050	750	1850	1050~1200	1763	1785	958	1710	
	800	1900	1050~1200	1813	1835	958	1760	

※は木ねじ位置

☆付属部品明細

名　称	数量
壁固定用木ねじ（φ4.5×50）	3本
取扱説明書（保証書付）	1冊

☆設置上の注意

●直射日光にさらされる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。

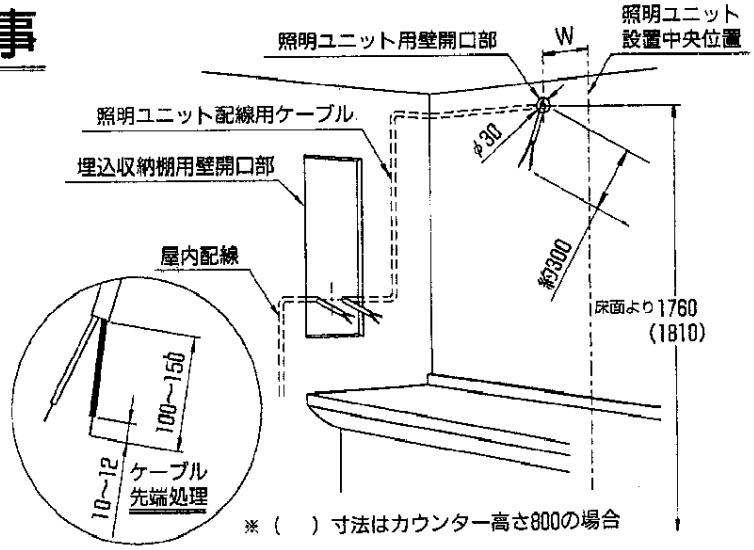
☆あらかじめ必要な電気工事

（必ず電気工事者にお願いしてください）

●埋込収納棚（LYJ302・LYG302タイプ）と照明ユニットを接続する場合は、あらかじめ電気工事者にお願いして図のように埋込収納棚と照明ユニットの間に配線用ケーブル（VVFケーブル）を通し、照明ユニット用壁開口部よりケーブルを取出しておいてください。

●配線用ケーブルと埋込収納棚との接続は埋込収納棚施工説明書をご覧ください。

製品品番	W
LHJ600	75
LHJ750・LHG750	150
LHJ900・LHG900	75
LHJ1050・LHG1050	0

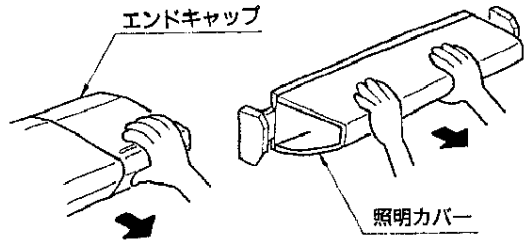


裏面に続く

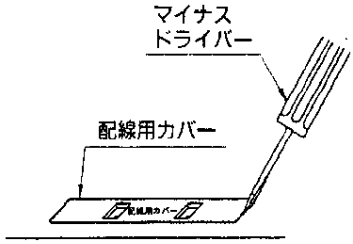
☆取付前の準備

(1) 照明ユニットの壁固定部分は、壁面に固定用木桟を入れてください。
(壁面に固定用木桟が取付けられない場合は、前面に厚み12mm以上の板を強固に取付けてください。)

(2) 照明ユニットを木ねじで壁に固定するため、エンドキャップ（左右共）・照明カバーの順に図のように外してください。
※取付けは逆の順序で行ってください。



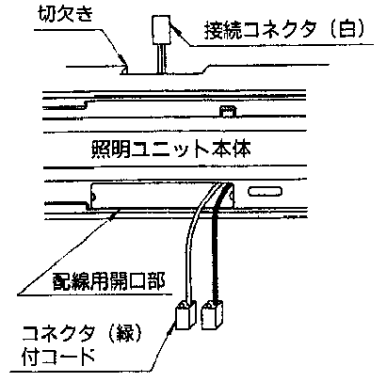
(3) 配線のため、図のようにマイナスドライバーで配線用カバーを外して、照明ユニット本体のコネクタ（緑）付コードを配線用開口部から確実に取出しておいてください。（右図参照）



(4) 照明ユニットの上側に照明付のキャビネットを取付ける場合には、接続コネクタ（白）を図のように照明ユニット本体上の切欠き部に取出しておいてください。

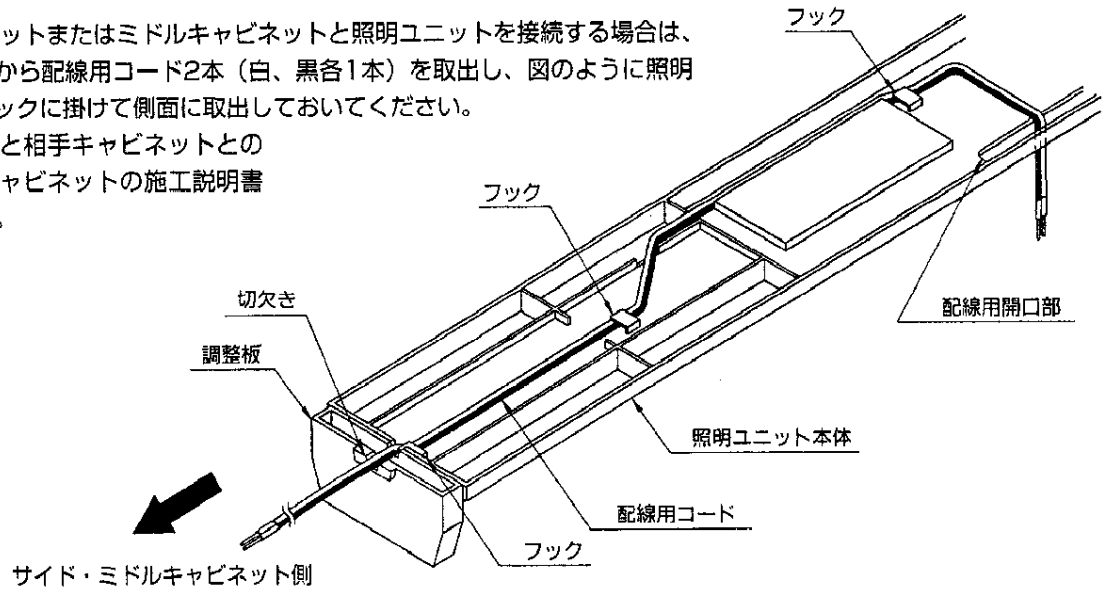
(注) 取付けない場合は接続コネクタ（白）を取出さないでください。

※照明付のキャビネットと接続する場合については、相手キャビネットの施工説明書をご覧ください。



(5) サイドキャビネットまたはミドルキャビネットと照明ユニットを接続する場合は、相手側の付属品から配線用コード2本（白、黒各1本）を取出し、図のように照明ユニット裏のフックに掛けて側面に取出しておいてください。

※配線用コードと相手キャビネットとの接続は相手側キャビネットの施工説明書をご覧ください。

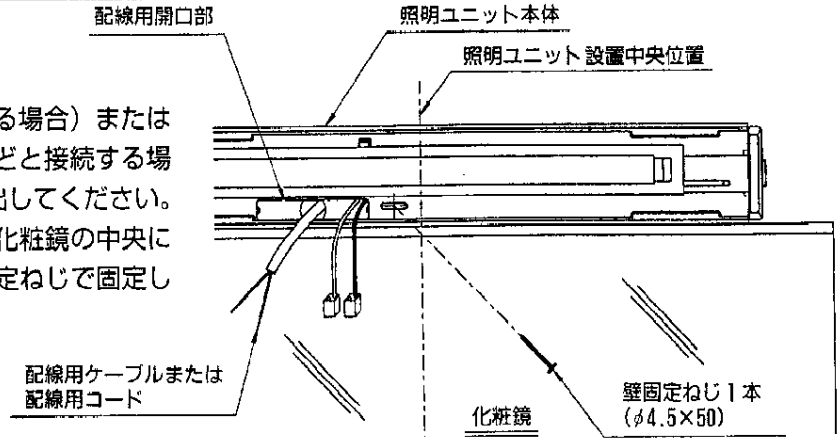


☆取付手順（番号順に取付けてください。）

①本体の位置決め

●配線用ケーブル（埋込収納棚と接続する場合）または配線用コード（サイドキャビネットなどと接続する場合）を図のように配線用開口部より取出してください。

●照明ユニットを化粧鏡の上にのせて、化粧鏡の中央になるよう位置合せし、図のように壁固定ねじで固定してください。



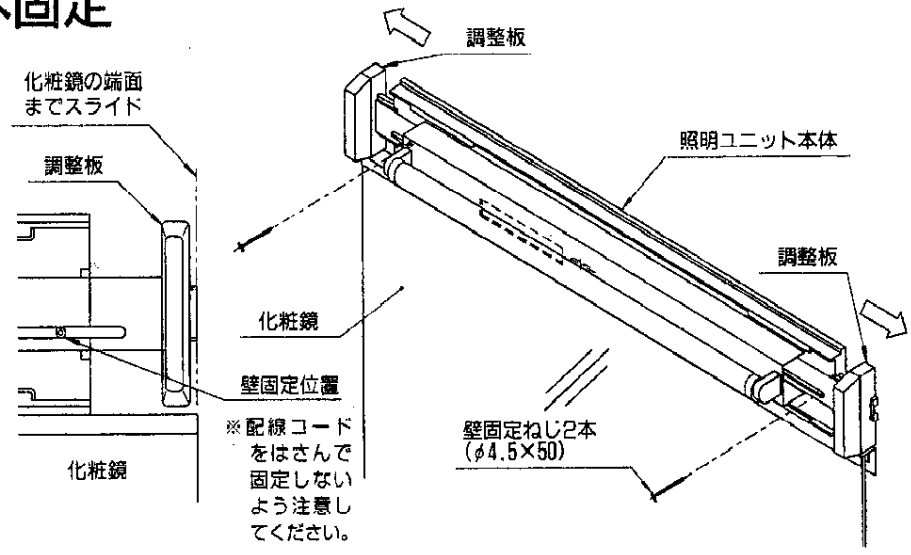
②間口調整及び本固定

●左右の調整板を図のようにスライドさせて、化粧鏡の間口に合うよう間口調整してください。

●調整後、照明ユニットを図の固定位置に付属の壁固定ねじで確実に固定してください。

※その際、あまり強く締めすぎると本体が変形しますので、ご注意ください。

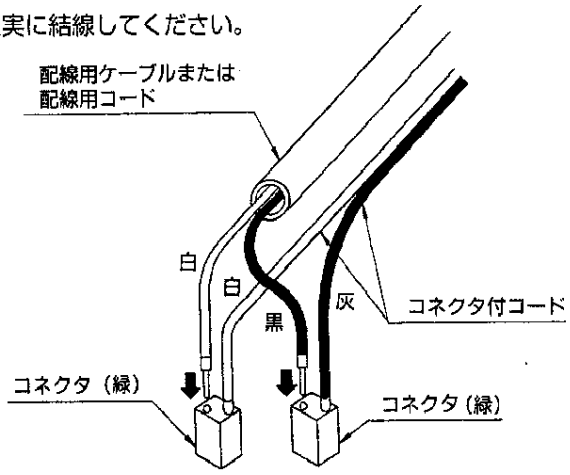
※壁固定位置以外の箇所に木ねじを止めないでください。



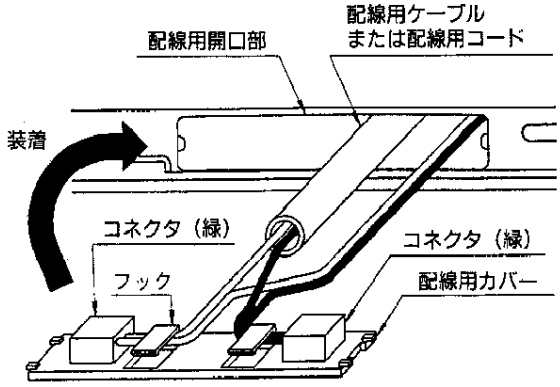
※タイル・コンクリート壁の場合は、型物に合わせて木ねじ位置に下穴をあけ、木ねじ用プラグを打ち込んでおいてください。

③配線用ケーブル(コード)と本体コネクタ付コードの接続

●電気工事者にお願いして、図のように確実に結線してください。



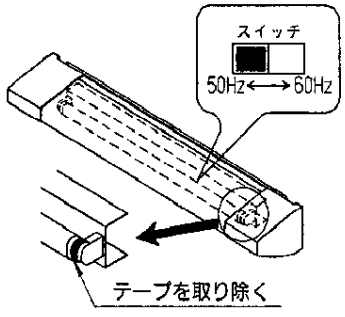
●結線後、配線コードを図のように配線用カバーのフックに掛け、そのまま本体の配線用開口部に装着してください。



☆取付完了後の確認と清掃

●蛍光灯本体の周波数は50Hz(ヘルツ)にセットされていますので60Hz地域でのご使用の場合はスイッチを60Hzに切替えてください。

※切替えはスイッチを押してスライドさせてください。



●蛍光ランプには、はずれ防止のためのテープが張付けてありますので、必ず取除いてください。

●グローランプのゆるみがないか確認した後、照明カバー・エンドキャップの順で取付けてください。

●相手側キャビネットのスイッチを入れて蛍光灯が点灯することを確認してください。

●製品が壁に確実に固定されていることを確認してください。

●製品についた汚れ（プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む）は、ぬれた布をかたくしぼってふき取ってください。

その後、水を湿らせた布に少量の中性洗剤をつけてふき上げ、最後にからぶきしてください。

シンナー・ベンジンなどの使用は表面の変色・変質の原因となりますので、絶対に使用しないでください。